

宮医発第 1771 号
令和 3 年 1 月 19 日

宮城県知事 村 井 嘉 浩 殿

公益社団法人 宮 城 県 医 師 会
会 長 佐 藤 和 宏

要 望 書

新型コロナウイルス感染症対策に関しましては、宮城県知事として、強力なリーダーシップを発揮され、日夜ご努力いただいていることに敬意を表します。

今般、下記について要望致しますので、よろしくご検討の程お願い申し上げます。

1. 首都圏に緊急事態宣言が出されました。感染者の多くは若い世代の方々です。宮城県でも、新型コロナウイルス感染者の増加が止まりません。20代～40代の行動力のある世代に危機感を持ってもらい、行動変容を促すことが必要です。若い世代に効果的な広報活動の方法を、是非考えて実行していただきたいと思っています。
2. 診療・検査医療機関は、約 500 施設となり、開業医師の約 3 分の 1 が参加しています。この医療機関で院内感染が起こった場合の支援策や外来の補償については、制度を整えていただきました。しかし、入院患者を抱えている民間医療機関に対する補償はありません。せめて入院患者の 1 か月間の収入減少(対 2019 年同月比) の 8 割程度を補償していただけないでしょうか。病院の規模にもよりますので、上限を例えば 1 千万円までなどとしていただいても結構です。これでも不十分ではありますが、入院を抱えながら診療検査に協力している病院にとっては、極めて心強い支援策となります。よろしく申し上げます。

担当：宮城県医師会事務局 総務課

TEL：022-227-1591

FAX：022-266-1480